



## PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

### 決勝大会・第1日 結果のお知らせ

#### <PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 決勝大会>

- ◇2015年5月5日(火・祝) 天候: 晴れ
- ◇岐阜・花の木GC (15-17歳の部男子7018ヤードほかカテゴリー別)
- ◇出場111人

#### <決勝大会・第1日 概況>

高年齢層カテゴリー(15-17歳、13-14歳の部男女)の第1ラウンドが行われ、15-17歳の部男子では、香川・香川西高ゴルフ部のチームメートの吉田泰基(3年)西山大広(3年)がともに4アンダー68で首位に並んだ。グリーンの速さを女子プロゴルフツアー級に仕上げた難コースで、ともに6バーディー、2ボギーで回った。4打差2位に大岩龍一(東京・堀越学園高3年)がつけている。同女子は、吉田莉生(埼玉・埼玉栄高1年)が、4番までに3オーバーとつまずいたが、以後立ち直って3バーディー(1ボギー)を奪うなど1オーバー73で首位に立った。1打差2位で工藤優海(千葉・麗澤高2年)、2打差3位で小倉ひまわり(東京・日出学園高2年)と、世界ジュニア代表経験者が追走している。13-14歳の部男子は、小木野太優(大阪・豊中第十四中2年)が1オーバー73で回って首位に立ち、1打差で昨年の世界ジュニア代表の杉浦悠太(愛知・高浜中2年)と、黒田智之(岐阜・美濃加茂中2年)が2位につけている。同女子では、後藤未有(福岡・沖学園中3年)が1オーバー73にまとめて首位発進。1打差で園田結莉亜(大分・大分中2年)と遊佐音々(大阪・新池中3年)が追っている。

15-17歳、13-14歳の部男女は3日間54ホールの合計ストロークの上位各3人が、6日から始まる低年齢層カテゴリー(11-12歳以下の男女各3部門)は2日間36ホールの合計ストロークの上位各2人が、それぞれ日本代表に選抜され、世界ジュニア(7月14~17日、米サンディエゴ)に出場する。

#### <決勝大会・第1日 ハイライト1>

##### ◇15-17歳の部男子 ◇第1ラウンド ◇岐阜・花の木GC(7018ヤード、パー72)

香川・香川西高ゴルフ部の吉田泰基(3年)西山大広(3年)がともに4アンダー68で首位に並んだ。「パターが良かった」という吉田はスタート10番で3・5メートルを決めるなど6バーディー、2ボギー。「テレビでマスターズを見ていて(優勝した)スピースのショートパットでボールを見ないストロークを、自分でもやってみたらよかった」と笑顔を見せた。西山は「納得いくゴルフだった」と振り返るようにインスタートの11、12番連続バーディーで波に乗った。「ビビリなんで、練習ラウンドして狭いコースなので本番ではけっこう刻もうと思っていたんですけど(前の組の)吉田がドライバーで行くんで、自分も持ち味を出そうと思って2ホールしか刻まなかった」のが功を奏したよう。昨年はこのカテゴリーで2人と同学年のチームメート、坂本将規が優勝して世界ジュニアの舞台に立っている。「優勝します」(吉田)「吉田には負けたくない」(西山)と、競い合って2年連続で香川西高勢がトップで代表の座を射止める。



写真： 左／吉田泰基（15—17歳の部男子）、中央／西山大広（15—17歳の部男子）、  
右／香川西高チームメイトで初日首位並走の西山大広（左）と吉田泰基  
写真クレジット：© I J G A 2 0 1 5

### ＜決勝大会・第1日 ハイライト2＞

#### ◇15—17歳の部女子 ◇第1ラウンド ◇岐阜・花の木GC（6399ヤード、パー72）

吉田莉生（埼玉・埼玉栄高1年）が、耐えて首位スタートした。4番までに3オーバーとしたが、以後立ち直って3バーディー（1ボギー）を奪うなど1オーバー73で首位に立った。2番でボギーをたたいた後、4番では第2打をグリーンオーバーし、アプローチも乗らずダブルボギーと、4ホールで3オーバー。「ショットがまとまらなかった。5番のパー3でバーディーをとって、6番ぐらいからいきなりピンに向かっていくようになった」という。要因を聞くと「朝、練習場があることを知らなくて、気づいてから5分か10分ぐらいしかできなかったの、体が動くようになったからだと思います」と話した。世界ジュニア代表経験者（工藤優海、小倉ひまわり）が追走しているが「あと2日、スコアを落とさないようにしたい」と、世界代表を引き寄せせる。



写真： 吉田莉生（15—17歳の部女子） 写真クレジット：© I J G A 2 0 1 5

### ＜決勝大会・第1日 ハイライト3＞

#### ◇13—14歳の部女子 ◇第1ラウンド ◇岐阜・花の木GC（6399ヤード、パー72）

後藤未有（福岡・沖学園中3年）が「ショットは5メートル以内に何度もついたのにパットが入らなかった」と言いながらも、1オーバー73にまとめて首位発進した。15番で5メートルを沈めたのがこの日唯一のバーディー。練習ラウンドでは60台もいけると思っていたが、スコアについては「ゴルフの内容的には悪くなかったと思います」と振り返った。女子プロのトーナメント並みの速さに仕上がっているグリーンに手こずる選手が多いが「速い方が好きなので。きょうはラインの読みが合わなかっただけで、距離感はあるんですけど不安はない。3日間大会は「これで3回目ぐらい」と経験が少ないが「あと2日間でなんとかアンダーパーにして世界代表になりたい。通用するか試したいし、世界にどんな選手がいるか見てみたい」と、意欲を見せていた。



写真： 後藤未有（13—14歳の部女子） 写真クレジット：© I J G A 2 0 1 5